要す

は距離に関係なく良いと言つ

奈川・兵庫・京都等々の諸県

然し其の中に於て群馬・神に従つて次第に悪くなる。 最も良く上田から距離を隔つ

た状況である。此事は即ち上

かれ

總会の地方進 近く千曲会の総会が開

money 論

說

3

である。

即ち納入率は上田を

出すと言う訳であろう。

心とする長野県在住会員が

中解

九

五三年

# 伊

武 男

学部が八真理探求口社会人の昭和二十四年四月わが繊維 考えてみるのも無駄ではある で一応既往を反省し、将来を 世に送つたのであるが、こゝ し、今春は第一回の卒業生を 発足してから已に五年を経過 導原理とする新制大学として 育成||職業への専門修練を指 前記の三つの項目がうまく一深い。殊に第二の「社会人の いると謂つてよいと思われる」については稍々体を成して 学に準ずる専門学校であるか う。本学部の前身は専門技術 ら第三の「職業への専門修練 的な新制大学というのであろ が、それに較べると、他の二 項目については未だしの感が ランスのとれた大学を理想

行所 社團法人 千曲会 冒大繊維学部内 ++ 月月廿五日 門刷株式会社 口 亮 後即行副 正平

第 四

七 뭉

と考える。 容の充実に全力を挙げて、時いが、吾々の当面の問題は内 認めなければならない。され のうちに実現出来そうにもな 本の現状では、到底今日明日 ばといつて、その完成は、 も無い現在の本学部が未だ整 い次第である。又、新制の大 補つている次第で、 名の他学部教官の応援に依て つた大学でないことは素直に て完備するのであるが、それ 学教育は大学院を加えて始め きは未だに教受陣の不足を数 機の到来に備えることである 成しのため 0 般教育の 泊に心細

らず連絡の親疎によると言え みるとこれは距離の遠近にあ 分布状態から見ると母校は今程しか居ない、学生出身地の や全くローカルカレツデに墮

煽るのはどうか。母校の学生 議のみに止めず講演会を併催 折地方で開く事、その際は会 此問題の対策も浮びそうであ る。さて若し然るとするなら 方策として毎年開く総会を時 部と各地方との連絡濃化の一 であるが右の所論に立脚し本 る。そこで以下私の思いつき し大いに本会及母校の気勢を う事を研討中の由である。 三 開策としても意味はあろう。 衆生済度は出来ないのである 辛い時勢では座つて居たでは 国仏来の如来様でも此のせ けば善光寺でも出張開帳と言 会を開いたし、最近大相撲も 今夏は学術会議でも長野で総 るのは如何 上田で信州場所を打つた。聞 本会及母校でも地方巡業と出 ち リズムや偏狭なセクショナリ

子顕微鏡、繊維場、紡織工場電 飼育法、 学部長の先導に 御出迎への中を 教職員、学生の 化学実験等約一 理実験、製糸工 より、各種養蚕 にお着きになり 月二十九日午前 しく御見学遊ば 間余に渡り親 一時半本学部 蚕体生

教授陣に人を得ることである。 つて志有る青年が集るだろう一成し、保持していくには学内 授に人があれば、それを慕 L

とろこで、有能な教授陣を育 世に出せるというものである 従て有為な卒業生を多く

宫 御 夫 妻 御 來 里

上田市営コートで開かれた一全日本学生軟式庭

徴として地域社会との関連が却説、新制大学の一つの特 余力尠きに拘わらず敢えて

色々ある。中でも、差迫つても、これも手を着けたいのが 専門学校としては充実してい の整備なども放つてはおけなろう。体育館の新設や寄宿寮 書館を拡充することなどであ 究の施設を整備すること、図やらねばならんのは基礎的研 究の施設を整備すること、 は足りない点が甚多い。あれ た筈の本学部も、大学として 即今目前の現実はといえば、 い問題である。 の整備なども放ってはおけ

臨まれ

は

環境がそれに適応 安んじて研 業に結びつき、之を推進する る成人の専門学級である。 後者は蚕業経験者を対象とす 年々二十余名の入室者を数えれに研究室を開放するもので以下の教官を対象として、こ 短期間公開する。前者は高校 ち、又今年からは蚕業講座を 挙げられる。この意味では、 痴人の夢に了るであろうか。 修学には洵に好適な土地柄で 大学である。上田 地方にも特色ある大学が出来 育制度大革新を経た今日では 我邦の大学教育は大都市に偏 り込んで其の文化向上に寄与 之を為す所以は地域社会に入 本学部は科学教育研究室を持 ある。ゆくゆくはこれを日本 便宜に恵まれてはいないが、 しては大都市ほどに研究上の る一方、 即ち、学術上高水準を保持す て然る可きであるまいかー する嫌いがあつた。先般の教 せんが為に他ならない。由来 のゲッチンゲンにとの考えは 其の地方の文化、 市は学都と 産

の雰囲気、 するー 一つまり、

して了つた。こうした面の打 成行きに委せるというのでは ない。安易なコンベンショナ のと思う。自然にといつてもあえば自然に醸し出されるも う雰囲気は吾々自身でつくる 学門に打込み、寛容に協力し でなければならない。こうい 育に熱意の持てるようなもの 究に没頭することが出来、 べきもので、おたがいに真実

勿論こう ズムなどは嚴に成むべきであ いう清新独創的

のであるそこで今本会の会費

にこんな問題で悩みたくない として自他許して来た会だけ ある。千曲会は今迄全国数あ 運営が出来ないと言う問題で るに会費の納入が悪くて会の 事が議題になると思う。 のるであるが又今年も会費の

納入状況を一瞥すると次の様

もき」関

者に限り

は此処数年来殆んど県内出

る同窓会中でも特に強固な会

るが、

然し会員が多数居る様

な府県ではお互に会う機会も

あつて自然本部や母校の情報

薄らぎ会費の出し振も悪くな

田から遠ざかる程次第に疎縁

になるので会に対する関心も

是非共必要である。ところで に応えるだけの学校施設

(第 16 号)

年の間に人員を増加し、

学を反映且つ滲透させると同・産業並に国民生活に対し科我国の科学の向上発達と行政 とに絶大なる努力を払てまい と堅密な連繋を保つて行くこ 時に海外に於ける科学の諸機 はやくも五ケ年間を経過し、 その間、所期の主目的である 月二十日に成立してから、 本学術会議が昭和廿四年 我国の科学を紹介し之 上からも、

前の戦禍を蒙たわが国をして 如何せん物心両面に於ける空 ていることは幾多の事実が立 る国にも劣らない素質を持つ 化国家の建設者として如何なもとより我々日本国民は文 、化国家として立派に再建せ **超。三、原子核研究所設立間の研究施設及教官研究費の間** 要望問題。二、新設新聞大学 技術庁設置に関する自由党の 大学管理法案問題。 四、反射望遠鏡設置問題 等で

証している所でありますが、

術会議から政府に対して勧告 て政府の諮問に答申し、又学 緊切な、凡有る問題を捉えて 由し、春秋二回の総会の決議 之を検討し、運営審議会を経 て、廿五、大の委員会を作り 義心の昻揚と、科学の振興並 によつて、既に八十余件に亘 す。
先決の問題となるのでありま 学術会議は之等の目的に向 行政の科学化ということが で協議の上、一応結論が出ま る十月下旬の第十五回総会に 目下各部に於て再検討し、 したが、更に委員会に附託し た結果、四月の第十四回総会 ありますが、之の問題に対し 会職に諮問して来ているので きものを建設する必要ありと |部に科学技術庁(仮名)の如 研究体制委員会に於て熟議し その原案を称えて学術 されていましたが、日本歪糸

一万全の策とは申されないと思 たならば、国家百年の大計上 術会議の意見を専重しなかつ に関する施策に対しても、学上からも、我国の復興及再建 科学を行政面に反映せしめる 束するものではありませんが 答申は、法的には何等政府拘 が百十数件に及んで居ります もとより学術会議の勧告や 興 等の各般の無理を是正して新大学の半分となって居る。之 が出発して協議中であります 側大学の拡充を期する委員会 認定され、教官研究費はA級 如きものが依然としてC格に 相当の施設を有する本学部の 医学専門として数年前に出発 たもの迄も優先的にA格と認 医専を強制的に医大に昇格し 而も、数官研究費などの面で したもので、アメリカ占領中 ||原子核研究所や反射望遠 創立四十年以上の歴史と 旧制大学は勿論もと県立

された主なる問題は一、科学本年四月の総会に於て審議 鏡の設置は基礎科学の進歩上 三回日本学術会議会員の選挙 必須のものであるが、之を決

ありました。 に改革する為めに自由党の一 一我国の科学行政を創期的

める為には、先づ国民の道

紙が配布される筈であります 種々の点から固く出馬を辞退 初中旬頃には有権者に投票用 此の度はわが蒲生教授は、

於て議せらるし訳であります **しており、前回にならい全候暮、横山、山桝の五氏を推薦** 他に田中義曆、吉沢彌吾、 区候補として ました。日本蚕糸学会は全国 て遂に全国区から立候補され 学会其の他多方面から推され ありますが。今回は前回 補者の当選を希つているので

生教授 0 選を期

来る十二月十日を期して第 れることになり十一月 性は ①第六部 (農学関係) 全体と ります。 援を御願い申上げたいのであ 回以上の御同情と格別の御支 権者と否とにかゝわりなく前 生教授の「勝利」のために有 **後性にして敢闘されている**蒲 に科学技術進展の為に自己を ます。同窓諸兄には、学会並 して極めて困難な状況にあり すなわち今回の困難 たこと、等々であります。 (4)従来は三名連記投票であつ 甚だ少数であること ること。

しているのに対し、 者数を統制して当選確実を期 ②第六部の他の学会は立候補 度しか増していないこと、 たのに蚕糸学有権者は四割程 目下の急務であり重大な責任 絶対に栄冠を獲しめることが 推薦をうけた蒲生教授をして と考えられますので、

有権者が八割も増し

を経過した今日、依然として 施設も拡充するもの」如く伝 不完全なるまゝに放置せられ 口新散新制大学は創立後数 算が通過すれば、上田市でも 件はその設置地点の気象関係 ります。この内反射望遠鏡の に計上して要求中と承つて居 画により昭和二十九年度予算 識して政府に申入を行つた結 が実現に努力する方針の様で 設置準備委員を挙げて極力之 となつて居り、幸に明年度予 上田附近もその有力な候補地 やその他の環境条件からして 果、文部省は何れも五ヶ年計

一であり、学術会議の学問思想 法もなく、何れも各大学思い く之が運営上準拠すべき管理 支ないが、新設新制大学は全 まム運用しているから何等差 制大学は従来の管理法をその 学管理法が出来ていない。旧 五年にもなる今日、 くの取扱を行つている有様 四新制大学が出発してから 未だ、大

あります。

一蒲生が甚だ浅学事才でありま 日に当選発表の予定である。 月十一日に開票され、翌十一 十二月十日が切となり、 第六部(農学関係)から不肖

我が信州大学関係としては

員の選挙が行われることにな 届出も終り、全国有権者総計 七万七千余名を以て、各部会 会員の選挙が行われる筈で既 年十二月十日を期して第三回 な法案の成立を申入れて居り 自治を脅かすことのないよう 果、政府に対し之が立案に当 つて居ります。 に十月五日迄に、立候補者の て学問、思想の自由や大学の の自由保障委員会で論議の結 向日本学術会議では本 推薦を蒙つて立候補届出を済になり、既に日本蚕糸学会の 代表して三度立候補すること すが、当学部第六部有権者を

投票は凡て郵送を以て行われ 等が各部の有権者に発送され の間に投票用紙や候補者名簿 又十一月二日から同十日迄 += 展の為に、微力乍ら一臂の力科学日本の再建と、母校の発る御支援を得て・幸に、文化 緊を要する焦眉の問題を控え 拡充、我国災害の防止等々喫 ました次第であります。 を致させて頂きたいと存じま ている。此の際各位の強力な 国民生活の向上、 興、蚕糸業の再興経済の自立 我国の科学の振興貿易の復 新制大学の

であります。 で同窓各位に悃嘏申ぐる次第 玆に紙面を拝借して催しん

(日本学術会議員 **農学博士** 

は二名位ではないかと見られは当選可能性三名に対し六人 3千曲会の有権者は他に比し 一番糸学会は全体としては出 でも多く当選してもらうこと関係者は相互に契をとり一人 御願いして頂きたいと思いま の方にも是非共「蒲生教授」 もとより、その他の農学関係 の別なく選挙に対し関心を高 に御投票下さるよう積極的に めて頂き、番糸学関係の方は を考えねばならぬと思います その為には有権者非有権者

意や御教示などありましたら 尚、又選挙に関係して御注

遠慮なく御知らせ下さ

-曲会理事長

林

期待している所が大きいわけ は当学部及千曲会は栄与ある 会員を会議に送り出したいも でありますから、その意味で のと、夫々の選挙母体に対し 来る丈け多くの当選者を出し ます。 どなさらぬよう御願いいたし用して下さい。絶対に薬権な即ち有権者は一権三票に活

御知らせ致します。されることになりましたので 及び監事会は次の要領で開催 第十四回千曲会総会、役員会

、本会の提案

### ----1 1 ス

### 部 長 逻

援助教授講師)四十七名によ九月九日午後三時有権者(教 月九日午後三時有権者(教繊維学部長任期満了のため 維 学部々長選挙

り後任学部長の選挙が行われ の伊藤学部長に対する期待は

## 藤武男氏が再選され昭和三十た。その結果過半数得票の伊 大なるものがある。 ×

して本学部養蚕学科へ来られ **農学部より志波先生の後任と** 矢木博教授 横浜国立大学

### 着 K

の難問題が残されて居り今後一に大学として誇り得るには前 足以来早くも五ヶ年を経たが 研究設備は未だ充実されず真 本学部も新制大学として発 | 途道遠の感じが深い。

来五年を経過するも未だ多く ととなったが新制大学発足以 年九月迄その任に就かれるこ

第一

曲

会定期 (V)其の他 は学術雑誌発刊の件 に登助員推挙の件 総会の 御 知らせ

訓求日)十一 に於て役員会を開会致します謝日)午前九時より千曲会館来る十一月二十三日(勤労感 が何卒御出席下さい。いては御繁務中とは存じま 役員会開会の件 三百円位で開催致します。 総会終了後潔親会を会費

**社団法人干曲会理事長** 各役員殿

り御提案があるなら十一月十申上げます。追つて貴支会よ 配下さる様御递知労々御依頼の上貴支会代議員出席方御手

します。ついては左記御了承

第十四回本会総会を開会致

回定期總会開会の件 **理事長** 林

員出席不可能の場合は別紙委目迄に御送附下さい。尚代議 監査のため左記により監事会本会の業務執行及び財産状況 で開会致します。御多用中御を開会致します。御多用中御 監事会開会の件

任状へ署名捺印の上御回送下

記

()昭和二十七年度収支予算の件 一、当日印章御持参下さい。 後二時 十一月二十二日午 各監事殿 記

究設備等々夢は多いが先ず繊 維研究の最も基礎となるべき その二、三を学内に拾って見 がら青々と実現されつくあり 人に期待されている。恒温恒湿装置の完備が多くの ると………… しかしこれらの夢も小規模な

### 二号蠶室大改裝

れに伴つて実験設備の完全化大規模な改築改装を行い、そ 設の不備が最大の難点となっ 究室と竹田研究室の専用の飼 との二号 蚕室は今迄は 蒲生研 験室に生れ変ることになった なった。 験室に模様変えされることに ていた。今度予算八十万円で 育用蚕室であつたが、実験施 を計り、近代的な蚕室や、実 設備を持つた研究室や飼育実 が大改装され、色々な優秀な 此の度養蚕学科の二号蚕室

電熱による温湿度調節装置を 他に実験用飼育室が三室、又 有する雅蚕共同飼育室が三室 備を持つたものが二室でき、 官研究室が暗室やその他の散 その概要は、養蚕学教室の教 隣座內容

される。農学博士 土壤肥料学及分折化学を担当

本学紡織学科に木内先生の後を送つて居られましたが今度鹿沢温泉にて著述、研究生活

年九月迄その任に就かれるこれの結果再選により昭和三十

伊藤武男教授

學 內 人 事

とになった。

任として来られ繊維物理学を

される。 제

任される。 御担当される。理学博士 任される。 町田 博先生 高木春郎先生 博先生 助教授に昇 助教授に昇 講師に昇任 講師に昇任

される。

おり、今年中に完成される予究室等が出来ることになつて 他の研究室の専攻学生用の研実験室や、遺伝学研究室その

便を感じていたがこれによりみたよつていた」め何かと不 従来より紡織科ポイラーにの 小型ボイラーを設置した。 増沢工業の犠牲的奉仕により 製糸学科製糸工場では本年夏

定である。 製糸工場に小型ボイラー た

策 助教授 川端 吉成養盃機家の家畜導入及冬季対

養蚕と関連のある作物栽培上

の諸間題 助教授

蚕桑昆虫と新化学殺虫剤

教授過理博

八木

大いに期待されている。

レーヨン室を改築修理し人造 次第移転することになりまし 繊維講座の研究室となし完成 たが、此の度化学旧館内製糸 第二研究室に同居していまし 繊維化学科黒岩助教授は奥 化學廳館一部改修着手さる

業講座本學部に 開 講

野蚕業の現状

倉沢

美徳

遊幽処理問題

長野県技師講師

宮城博

温

生理、助教授 竹田 寛

**究も一層の成果が上るものと** 学校工場の運営も円滑に又研

雅糸経済の諸問題 教授 小泉 所

# さる

座を開講し、一般に開放する |二月十六日迄二十日間 年十一月二十四日から同年十 興専門講座として、本学部に 十一月一日から同十五日まで 二、蒸集人員 ことになった。 四、受講料 三、開設の期間 昭和二十八 けない。 五、申込期間 昭和二十八年 にプリント代等五十円。 一、受講者の資格 昭和二十八年度の文部省委 識習料百円。 約三〇〇名 制限な設 他

蚕の発育生長と生理

| 生産力の研究……広瀬幸男

烏帽子岳水素の水棲動物並

#### 信大科學教育 回 硏 研 究 發表 龠 0) 成果 開催

|氏(八木研究室)

他された。 十月三日本学部生物学教室 は於て参加者多数をむかえ開 」と題する特別講演があり、 半平氏(大平研究室) 生成に関する研究……木藤 グリタミン酸よりプロリンの 如くであった。研究発表者並に演題は左記の 俊教授の「酵素と生命現象 尚研究発表後理学博士西沢 平一郎氏(田口研究室) 生態分布とその意義……若林 態学的研究……寺田 (佐藤琴太郎研究室) 学的研究………寺田 良氏シソ属植物の細胞学並に形 電子顕微鏡による繊維表面 長野県における大豆品種の

内研究室) 内研究室) 放木 を与えた。行われ、聴講者に多大の感銘

盃を中心とした遺伝及育種 一番種学の新しい諸問題

**蚕病予防法について** 教授農博 佐藤春太郎

桑樹の疾病とその防除 松尾 卓見

土壊の良否の鑑別と桑園土壊 桑品種の諸問題 について 教授農博 矢木博 桑樹栽培上の基礎知識 田口

は、過去三十年間において生を中心とした細胞代謝の研究

出てきた。然るに酵素化学 極の酵素系を次第に明るみ

ある熱源代謝や筋肉運動に関

る面に直接使用される。一

酸を雕したものは再び高エ

内五〇〇キュ

命活動のエネルギーの根源で

学などの技術的進歩に伴いと

する酵素系の明らかにされて

いるものは少ないが、細胞化

で熱を出すには

く手段としてはこの現象その現在において、生命の謎を解 飽くまで探求するより他に方、 ものについてその細い機構を とは単なる想像の領域である を in vitro に造り出すこ らこの三ツの特性を持つた物 ものが「生物」という言葉で であるが、現象的に見れば一 することは非常に難しいこと んでいるか」を本質的に理解物が「生きている」か「死 表現出来よう。然し無生物か 応運動成長繁殖の三ツを行う たゞ有機物を高温で燃焼させ In vitro

で始んど神秘的としてしか考生化学の進歩により、今ま れるようになり、生命は著し 態などすらも物質的に理解さ 筋肉運動の機序、遺伝子の本 えられなかつた分野、例えば 法はない。 、物質化されて来た様である 生物は多くの種類の酵素を

の、或いは遺伝に関与するも 筋肉などの仲縮に関与するも 熱源代謝を行う一群の酵素系 ものは複合蛋白質を主体とし 命現象に最も直接に関係ある る酵素は何百種とあるが、生 持つている。今日知られてい た原形質の合成に与かるもの

ろ蛋白合成や遺伝などに関与 のなどであろう。現在のとこ 源機構が如何に複雑であらね えても、低温である生物の熱 計によらねばならぬことを考 時計より遥かにく複雑な時 ばならぬかがわかる。

る機械によつてなされる。 ものと、酸素を利用して多量 うに酸素の力を直接借りない る結合を切断しこれを酸化し などの仕事をやる為めには、 たり、水素を舞つて水とする でも百キロカロリー以上もあ まり生物のような低温におい これらは複雑な酵素系からな の熱を生産する方法とがあり の熟源代謝には醱酵などのよ て、炭素原子ニッの結合だけ れば充分であるが、生物体内 'n

に致し方がないのである。例数の酵素の分業によるより外 えば正確に時間を知るには砂、 著しく高度に専門分化した多 この系から放された水素は、 ている。 ヴィタミンBがその補酵素若 C4有機酸を水素運搬体とする マール酸・オギザロ醋酸など 酵素系は琥珀酸・林檎酸・フ しくは補酵素の一成分となっ 群の酵素からなる。そして 所謂黄色酵素系に移

の酵素群の内、セントギオル の水素原子は先づ熱源代謝系 えば葡萄糖であるならば、そ 合うのは炭水化物である。例させる。最も急の場合に間に にあるあらゆる有機物を燃焼 質の再生のために生物は体内 ギー循環系に移される。この ネルギーのものに戻つていな いと、次回の必要の場合に間 合わないので、これらの物 性の片鱗が伺われる。 関は今日のような発達した工 のもので、かくる優秀の熱機 関の効率に比べて遙かに優秀 辺においても将に生命の神秘 造出来るものではない。この 業技術を以つてしても到底製 七三%にも達する。一般熟機 に使われるので、この効率は エネルギー燐酸化合物の再生 カロリーはこの間において高

=

N

筋肉は洵に或る意味で生命の り長い間この機能を発揮する ゲル氏液に漬けておくと可な 来た。殺した蛙の筋肉をリン ものという概念で収扱われて るので、昔から「生きている 筋肉は神経の刺戟で伸縮す かへる神秘的な

命

じてこれらの物質から燐酸をの役目をしている。必要に応 質があり、エネルギーの貯蔵の燐酸結合を持つた一群の物 に)大きなエネルギーが出る。 離すことにより(勿論酵素的 のような一群の高エネルギー ・T・P)やクレアチン燐酸 るアデニールーヨー燐酸(A 生物体内には解酸系と称す どのトリ

**炭酸ガスにされるかくて** 込まれ、一回転する間に全部 とするクレプス循環系に放り られ、更にヴィタミンB酵素 かくしている内、他方においを通して渡され遂に水となる なる反応が終了する。六八六 + 6 H<sub>2</sub>O+686Kcal ( $\triangle$  F) ニツト酸・オギザロ琥珀酸なり、これはイソクエン酸アコ ガスを放つてCoの化合物とな 系の脱炭酸作用により、炭酸 り、次いで空気から来た酸素 ては葡萄糖のCo鎖は半分に切 に直接またはサイトクロム系  $C_6H_{12}O_5 + 6 CO_2 = 6 CC_2$ カルボン酸を媒介体 現象の機作も天才生化学者セ される。即ちアクトマイオシ するとその一ツの解酸は水解 り、それにA・T・Pが附着には二、三の活性原子団があ 学者により最近明かにされ ので、これで可成りの仕事を カロリー程の熱量が発生する 勝酸が離れると同時に十キロ ンはA・T・Pアーゼである したもので、この筋肉蛋白質 白質とがバイメタル状に結合 クチンというむしろ球状の蛋 オシンという糸状蛋白質とア 素であった。その本体はマイ 彼等によとる筋肉も一ツの酵 ソトギオルギーその他数名の

俊明明 すには他からエネルギーを補 は熱源代謝により再びA・T PはA・D・Pとなるが、これ よつて発生した熱量を当てる となるので、これを再び伸ば 著しく増大しエネルギー不足 縮した筋肉はエントロピーも も実験することが出来る。収 たアクトマイオシンについて とは試験管の中に取り出され る如くに短かくなる。このこ 如く、或いは羊毛が過収縮す 肉分子は、伸びた螺線が縮む 結果歪んだバイメタル式の筋 れていた水は放出され、その クトマイオシン分子に加水さ 配に変化が起り、そのためア やカルシウムイオンの濃度傾 ち神経の興奮によりカリウム するため起る現象である。即 がコロイドとしての特性を有 と伸長とはアクトマイオシン Pにされる。 訳である。それによりA・T には前記のA・T・Pの水解に 給しなくてはならない。これ となり、ホモゲンチスチン酸欠除していると、急性錯乱症焦性葡萄酸を酸化する酵素が ない状態を意味する。従って らの酵素蛋白とは同一か或い らば、正常体のジーンとこれ 質であるから、最近の蛋白合 能力がある訳である。 る二、三の酵素を造る能力が を分解する酵素が欠けている 中間体として生ずるフェ またフェニルアラニン代謝の ツの酸化酵素を欠くと白皮病 は酷似のものでなければなら 成の録型説により推論するな 正常のものムジーンには造る エニルアラニン代謝に関与す かくる病気発現のジーンはフ 何れも遺伝性である。つまり と、尿が黒変する病気となり となり、これは遺伝性となる これらの酵素も一種の蛋白

酵素を造る一種の酵素と考えとが出来るが、その上これは 色々の酸化酵素のためメラ る。即ちフエニルアラニンが 例えば先天性自皮病や急性錯 なくてはならなくなって来た 質またはその集合と見做すこ くは実験結果によると、蛋白 るが、染色体中に埋蔵されて その他の核蛋白質が充ちてい れている。核の中には染色体 ミトコンドリヤの中に埋蔵さ 源代謝や燐酸系は細胞質中の いるジーンは最近の推理若し 症や黒変尿症などにみら 細胞質とになる訳だが、熱 細胞は大きく区分すると核 のと推定されるので、 く多様性のものと考えられ、 従つてジーンの多様性もこの である。

意味においては理解出来そう 信州大学繊維学部教授理博

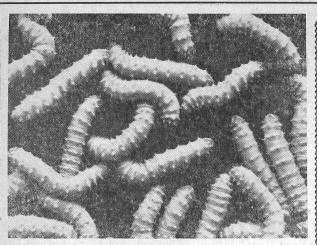
またはその集合体が縄状に並ば、ジーンとなるべき蛋白質 るが一般遺伝現象に押し広め ものと考えねばならない。 分子族として結合しているの 他の重要物質を造り得る酵素 核は生物個体の原形質及その んで染色体を構成しているも るジーン蛋白を持つていない ない。病気のものは勿論 であるから、核蛋白質は著し は特異性に富んだ核酸が補欠 である。おまけに、核蛋白に の一大群落所と見做されるの て考えることが許されるなら のような推論を飛躍的では 細胞の かム ے 35

(5)

云う同窓の人々の消息である は今何うして居るだろうかと り乍ら心に先づ浮ぶのは、

も早三十七年も前のことであ 私達が学校を卒業したのは

毎



げのあ る 虫」(光画クラブ作品)

献して居るからである。

定二郎 口

する機会を与えられたので色 Ŧ 曲 時報を見る りで此 の時報

々感想が湧いて来る。筆をと る。私は自分の過去を省れ まいか。 実に迂余曲折である様に思わる。私は自分の過去を省れば 誠

あるがは其れが一体人生に何 る。成る程色々な論文を発表 て居るものや特許の五、 し自分では創見であると信じ の貢献をしたかを反省して見 専門の学問に対して何の程度 に自覚はして居るのではある れるが恐らく誰もがそのよう 私共は其の間に何をしたか

得るかどうかは疑問である。 るが果して一生の間に完成し で本を出したいと念願して居 はない。今も尚一冊位は英文 れば世界の文化とは直接関係 日本だけを相手にした本であ 著や何かで数冊は出て居るがの程度の貢献に値して居るか

力をして居るが、何の程度の 力して来たとは思うが、残る は短い。自分ではたゆまず努測し難い。考えて見ると一生 成果をあげ得るか自分には予 毎日研究だけは連続して努

る筈であると云う解釈である 其れは生物学には正しいと云 対して何等かの寄与をして居たことが日本の歴史の歩みに あることであろう。

て肩の荷が重そうです。

先生退職の後信大工学部より

室に頑張つて居ります。

時

代

0

寵

兒

?

織

同じ過程に於て種の保存に貢 い得よう。何となれば動物も 文化に貢献すると云うこと 性と勇気ある行動とを平時に も急時にも期待して止まない ものである。

\*\*大するあり得る。即ち生きて来る対かがいのであろうと思う。此りであるうと思う。此りなければ向上には影響する所にないのである。というなければ向上には影響する所にない。 信ずるものであるが、各自の あり国民全体も同様であると 願して止まないものの一人で 心もとなく感ずる。 ものは一体何であるかと甚だ 生が其れに何等かを貢献し 私は日本の文化の向上を念 得ようか。吾々は研究費と云 は真の意味の文化に何を残し 同じ方向に進もうとする日本 であるかも知れぬが、再 雄が城であるのも日本の標徴 の舌の未だか 過去に於ける文化の遺財の に向う気配を示して来た。

ろうか。日本の世論を指導す をせ負わされて居るものであ る吾が同窓諸君の健康なる理 れば何と日本はあわれな運命 ばならぬ方向に進むものとす なく再び同じ徹を踏まなけれ る戦争の惨禍を想うに切なる 取る以外にはないかどうか。 の新聞に見られる様な方途を ものがある。然るに性懲りも 未だ昨日の如くに記憶して居 が沈思三省を要する。吾々は び研究所の人々があえぎつ」 様な状況に於て多くの大学及 ならぬ状態にある。恐らく同の最後の努力をなさなければ 其れを以つて、残り少き人生 毎年同じ様に分配してもらい うには余りにも僅少の金額を 此の点については国民全体 日本の行くべき方向が今日

溢れる古里助教授、

常会費各二百円を御納入 下さる様御願い申上げま 企る為是非共入会金及通 ても又は本会へ直接でも す。御払込は支会を通 ・曲会の運営の円滑化を

劣るであろう。

再建を中外に宣言したが其

終戦後日本は文化国家とし

と思れるものが少いのである に書き残されたものには此れ

> 千御曲 岡納入下さい

近年文化財の保存がやかまし は何か社会に残すことである

くなつて来たが、其の中には

物が多い様である。文字

いさ 4 か淋しかつたがとの春 第九回生を以つて専門学校時 科は二十六年三月に巣立つた の四講座が設けられて居りま 維化学・色染化学高分子化学 いますが、講座制になりまし の皆様も既に御存知の事と思 い限りである。 に大学第一回の卒業生が意気 卒業生を世に送つた繊維化学 大学になってから、 昭和十七年九月に第一回 同窓生 0

維の浸 良等について研究を行つて居 の合成樹 関する研究を続行して居り繊 まして、 を続けて居ます。 究及絹の触感改良に関に研究 質改良及びその化学的組成研 六川孃(前に紡織科) 生坂口先生清水周氏 す天然繊維化学講座には奥先 が居りまして蛋白質繊維の品 人造繊維講座には隅田先生 (六回)生島孃が居り 醋酸繊維素の延伸に に関する研究・絹 に居た) (九回)

光 3 各 電 子 科 顯 微 便 鏡 IJ

わかぬ内に再軍

がそのプロフィールや如何? 会社へ或は他の重要ポストへ 名を工学士として送り出し大 と堂々たる就職振りを示した 先ず主任に織物の権威たる 紡

の夢新たなる一志講師は研究 クの大家柳沢助教授更に新婚 座には温厚なるポット、シル 野口・小林両助教授も御病気 活躍、更に編組学にファイト 全快後研究に学生の指導に大 三浦教授を立て紡績学講座の (織物の硬軟度)と両天秤に 又電気学に於ては小林清丸 今春大学初の卒業生二十八 | 小泉先生の出張講議を願つて 機械学講 ます。その他の職員諸氏、諸 研究に大いに期待されて居り 先生は本年三月薬石の効空し 顕微鏡設置に骨折られた木内又繊維物理学講座では電子 月五日永眠されました。 年三月御退職後郷里広島県 居ります。 孃も皆健在で実習工場及研究 授が赴任され将来超徴世界の く他界されました哀情の念禁 木内先生の後任として呉教 報を御伝えします。 得ず末筆乍ら謹みて二つの 市にて御静養中の処本年 恩師福田文矢先生には一昨

まつたので遅

唯一人片倉の矢野栄輝氏には

ダーグラデュエート

なり同氏のホテルの同室で臨

ベッドを運

んで来て貰つて

六ヶ月に延ばしましたので生ありました。三ヶ月の予定を

宿泊させて下さつた事が一回

在し残り一ヶ月半を各地の研

の化学教室にも約二十日間滞 であります。其他エール大学 リンストン大学の三ヶ月有余

越して行く。大学教授の停年

大室農場を想ら

た。渡米中に出会つた千曲会 究所や工場の見学に費しまし

員としては蒲生先生を除いて

## IE.

E

られましたが学ぶべき事が余 部省から 学を命ぜ 米国に留 三ヶ月の 月昨年 定で文 ますので米国の話にはもうと まして既に一年半余りになり 敗もなく帰朝することが出来 り旅の気易さの為か大した失 様な苦労もして来ました。 つくにかびが生えて新鮮味が 面で他人には洩らし得

消えて居りますが御容赦下さ 従つて大学にも学閥がない。 米国の社会には学閥 大学教授の貫禄 がない。 いものがあった。

独 教授並に学生仲間に見ること 争の面相を如実に米国の大学 段の差である。激しい生存競 う先生が評判がよいのとは格 話が上手でオベンチャラを使 大学生に点数が甘く就職の世 ヤボヤして居られぬ。日本の る。大学教授たる者寸時もボ り辞職勸告を受ける事にもな 居られなくなるし大学総長よ が出来て彼我相照して感慨深

ワイシャツを一枚買つて来て る人もあるしナイロンやオル 矢張り絹であると直ちに答え 邦貨四千二百円である。とこ 貰つた。その価格驚く勿れ、 つた一世の人にデークロンの ンゼルスから旅行に祖国へ帰 なつて来た。今春米国のロサ ば多くの人は必ず絹であると 米国で最も高価な繊維と云え ロンだと答える人も随分多く 云う。最もよい繊維と云えば 最も高価な繊維

重なればその教授は知らぬ そうなればその教授は大学に に学生が告りつかなくなる。 全然ないのでナイロンよりも くしアイロンをかける必要は ズを着用している。デュポン は綿ブロードのサンフオライ るのは長期旅行位の時で平素 デークロンのワイシャツを着 思われ出した。今日米国でも 円でもそう高価でないように 様の外観であるから四千二百 遙かによい。而も常に新品同 るし晩に洗うと朝には必ず乾 濯しても黄褐変せず純白であ ろが着用して見るといくら洗

絹にデークロンを混ぜた夏の あろう。私の手許に米国から 混織するような事にもなるで 絹にオルロンやデークロンを 絹織物の価格を下げる目的で 糸が最も高価な繊維となる。 なりつ」ある。そうなると生 りオルロンも生糸より安価に 価格を絹よりも安価にしよう 社では本年一杯からつてデー 紳士用絹服地のサンプルが届 としている。既にナイロン然 了しようとしている。そして クロンの大量生産の設備を完 いた。素晴らしい味である。

力の限り頭をもたげてくる 黒土の中からむくくと ち味と云えましようか。 さし、

先づ自然科学系列を

大の内地留学から帰られた許としてアマチュアカメンバーとしてアマチュアカメの腕前も特選級の由。 も着々進行中と同つています も着々進行中と同つています が、先生永年のパン食主義 ける神経の作用」等の御研究 が、先生永年のパン食主義 でが、先生永年のパン食主義 でが、先生永年のパン食主義 でが、発生永年のパン食主義 泉先生、倫理の羽島先生、で研鑽をさをさ怠りなく、 又、生物の八木先生 哲小経

~) 武重嬢がアイゼニンに関す 平先生北条先生今井氏(四回 島孃等がトリアデン系染料の る研究を行つて居ます。 合成及合成繊維の染色に関す る研究、合成ペプチドに関す 高分子化学講座に於ては大 色染化学講座では会田 先生

士 濟 K

に仕事に励んで居ります。 を極めて居ます。 て研究、講義の外に学生の就 殊に大平先生は科の主任とし する研究等を行つて居ます。 相変らず元気で科の為に熱 職問題に学外実習斡旋に多忙 宮下・高野・山崎の諸氏も

門学校時代の同窓諸兄にはち 教養学科――といつでも専 多 教

最近蚕糞を原料に家畜の栄養の委員として御活躍ですが、 のほか職員組合の文化部長と 物理の天白先生で、先生はこ の学科に較べて新しい先生方 戦後の新設学科で、従つて他 生方によって構成されている 課程」の教授にあたられる先 の特色といわれる「一般教育 前主任西沢先生は補導や予算 生は専ら研究室の留守居役。 担当する理科の近況からお知 主たること、此の科独自の持 が多く、それぞれ一国一城の れませんが、これは新制大学 挙せられて御忙しく、須田先 しても尽力されています。 らせすると、現在の科主任は よつとお分りにならぬかも知 伊藤先生は再度学部長に選

車でお通いですが学内で之を 神科村のお宅から快速 数学の安東先生も御元気で 軽自 邨

今日も雑草とせり合つてい 燕麦・玉蜀黍・馬鈴薯等々 人間に命の糧を与えんと

沃土は、 \* いつくまでも、 中 \*

貝つて大奮斗されて衛門に御一人で体育関係

励先生いづれる。

を先 れれ倉

いつばいに身に浴び乍ら きらくと輝く紫外線を

や切です。

泰先生は不断の熱心な御勉強うわけ。同じく数学の佐藤良 使われたのは先生が矢嚆とい

る研究、

イオン交換樹脂に関

暫くは御静養の予定。御全快 が過ぎてか健康を害されこゝ

従事して参りました。ところ るまで凡そ六ヶ月間滞米し主 として繊維化学の研究調査に

無理をして昨年の四月帰朝す

りにも多くありましたので、

びのしるしと共に改めて渡米

弦に渡米に因んで二、三の事 し上げるチャンスを逸してしが帰朝早々本誌上で御挨拶申 ればせながら、

四十年間依然として変らぬ日 閨閥がない。講座制がない。 本の大学並に学界の因襲は薬

私の滞在期間の最も長かつた の多大の御芳情に深甚の謝意 に際してよせられた同窓諸氏 はニュージャージー州のプ 陣営の強化を計り有能新鋭教各大学競つて自己の大学教授 を確保されているのみである 教授は実力によってその地位 味に満ちたものである。大学にしたくとも伺われぬ程新鮮 授が高級でドンドン他の大学 究室の家の子郎党も共に引き へ迎えられて行く。その際研

を捧ぐる次第であります。

授は辞職せざるを得なくされ でも勉強しない実力のない教制は七〇才であるがそれ迄に なるとその専門的実力に物凄 な大学の大学院の二年生位に **屢**々生じるからである。アンが教授に打ち勝つ様な場合がてしまう。それは学生の実力 の足りない教授を理論でま い者が多く現われて来て勉強 学四年)の間はまだしも有名 (新制大

吾等の汗が滲みこみし場

方もある筈。

のは新聞紙上で既に御存知の 飼料を造ることに成功された

「鄉

し得ず、麦と同様湿地に適しの根と異つて根から酸素を出

麦と同

地に適 0 軽鬆

ので、

土壌浸蝕(ソイルエロ は勿論桑園地附近の土壌まで

ージョ

防止に役立ち又、桑は

愁

あります。

桑の栽培が桑園

地

櫻

井



(光畵クラブ入賞作品)

善

ライドが極めて普通に用いら米国の大学の教材にカラース 用服地が流行しつゝあると言 絹の洋服地 際でも手術部は天然色のカラ れている。医学の解剖講義の 残し得るか?最も高貴な繊維 として、 今後も果して最も高価な繊維 の日本人に米国では絹の男子 くとカラースライドが売られ ースライドで講義される。名 なければならぬ問題 ?、之は我々日本人が解決し として残り得る?残し得るか 所旧蹟と名つのくところに行 を痛感する。 たらどう考えるか知ら絹は カラースライド 残り得るかと?或は が忘れ かけた昨 である事 いら

ですが御覧を頂きをいっ して御説明申し上げます。 して御説明申し上げます。 ですが御覧を頂きをいるがで落上 ですが御覧を頂きをいるがで落上 ですが御覧を頂きをいるがと程 ですが御覧を頂きをいるがと程 皆校外での話である。米国のするチャンスが与えられぬ。 であるどう云うわけか未だ我いので紙芝居の代りになり相 比較的よく撮れたと評判がよ がよい為に下手な私にしては ースライドを得た。フイル て撮影し約三百枚許りのカ が学校では公式に一度も公開 話を賴まれた時はカラースラ

私

尽

都

J

高

と共に参上致し度いと存じま 戴く外に私共も度々学生諸君 援助を御願い致します。又度 後皆さんの格別の御指導と御、添いたいと存じますので、今、 **川瀬の諸先生のあとを汚しは** 後横浜国立大学に移り、本年 学には微力で、志波、古谷、 学菲才で、長い伝導のある本 に対する知識が乏しく且つ浅 肥科学と分析化学とを担当さ 任として御世話になり、土壌 木誠政教授と共に勤 せて戴いています。 七月に本学部に志波教授の は農林省農事試験場 私は養蚕

で風蝕や水蝕を受け易い様で は殆んど火山灰質の軽鬆土壊 察してみますに主要な養蚕地 土壌を通して我国の養蚕を考 すので宜敷御願い致します。 「予算の都合で来年二月迄のな事もありますが、実は最近 ずる事もありお話ししたい様大学で勉強して居ると色々感 原稿用紙 異つた土地に住み初めての 確かに 戴きました。

キ機関銃の丸が一パツ四十五 居るとして大体三~四百万円 居るとして大体三~四百万円 予定の内地留学が本年末迄に で何分撃てるかな…」 円であるサカイナ ヤー人二ヶ月短縮で九千円。 前或る人から「そりや保安隊 願いたいと思います。二三日 る所で出来れば今回は御容赦 変更になった」旨の通知を貰 い、いさ」かむかくして居 う話を聞くと余計 挺の 面白くなく

必要さをつくん、感じます。の前に水害の惨状をまざく 留学の私の 研究は

### 0 3

コニカでコダクロームを用い

ている。

私は携行

した写真

考える人が多いと思うが、こ高原と云う所が多いからだと簡単にこれわったと簡単には○○原、○○ 層の 安定し得たと信じます。農業経営は養蚕によって

で一日も早くこれ等不良土壌 耕土培養法と云う法律によつ 家畜も育ちにくいようです。 の様な所には作物は勿論よい だと信じます。 て不良土の改良が出来ますの よい耕土にすべき

苦士まで欠乏した他県にも少 い不良土壌が多い様です。こ

れ等の土壌は石灰のみならず

博

都随想を の際千曲 書けとの 志氏上洛 取すればいくらかむかくし 電が短縮になるのだろうと解 の詳細は分りませんが、風水 日以上も途中から国電に乗りの広さでしようか)御陰で十 手前が淀川の支流の決潰によへ通つて居りますが、高槻の の広さでしようか)御陰で十り一面水に漬り(上田の町位 電車で高槻の京大化学研究所 当地の修状は相当なものでし なりの被害があつた様ですが先月来の台風では長野県もか た気分も収るというものです りよく読まない私にはその た。私は京都に下宿し新京阪

じます。で機会をつく 致します。 機会に詳細お知らせ あつ識かの 事だと出ていいのに

識して居ない様に思います。 々信州人に真にその価値を認 持つて居ると思いますが、我 程度言えるかもしれません。学部そのものについても或る更にこういう様な事は繊維 の京都等の持たない美しされのではないかという様な気が ス等を訪れて居りその美しさ 信州に住む者にもあてはまる を賞讃して居ります。この事 はそつくりそのま」逆に我々 々志賀高原や、上高地、アルプ し大な気が 3 維

れて居る京都は我々はじめて けず各時代の文化財が保存さ さすがに千年の都で戦災も受 学して廻る事にして居ります 日は専ら京都のあちこちを見 的にのんびり出来ますので休 てやつて居る様なわけで気分 で装置も上田から持参して来 上田 いと感じて居るのは京都の人じを与えます。唯今私が面白の者には静かな奥ゆかしい感 究室の約半数は今夏信州の山つて居る事です。こちらの研 我々信州等に非常な憧れを持いという事です。そして逆に 又あまり京都を歩いて居らな が案外京都のよさを認識せず でやつて居つた事の延長 幌農学校といった時代の場 は校内にないの? 尤も札

に北大はないわけだから

されば御遺族に纏めて贈呈し 座東京四三三四)宛お送り下故人名を記し千曲会(振替口

 在専卒業後二年間母校井上棚かり。同氏は大正十四年上田 月十七日永眠された。(満四 の最上の看護の甲斐もなく一

同氏は大正十四年上田

ホウ! あの有名な時計台 喫して来たわけだね。

> 哀悼の意を表します。 死亡会員の御冥福を祈り上げ

故人に対する中慰金はその

すると旧制大学のよさを満

小中山市北林沢本村島

友重 平石 兵衛 共衛二 大峰二

年高血圧の症状を覚え、その北島 正生氏蚕・(1二1) 昨

尚 誠 文 生

政完

一月はじめ高血圧に伴う心臓

病を併発、長野日赤に入院さ

れ、夫人及御令息(医師)等

でしようね。

そくている

#### ね。 にポッサ! 北海道へ? 海 道 何し

あるの? 長

ーフウン、じやボクのような 分に手伝つていたろうけど さに吞まれちやつたんだね その学生なんか自然の荘大 気の小さい者は狩勝原野や たら気絶しかねないね。 阿寒、摩周といつた湖をみ 邦的なノスタルジャも多 ーやはりあるんだね

ヘエ! 一軒の旅館に浴槽

ーアイヌ人つて、そんなにア た顔をしてるね。 そういえばトルストイに似 の末路の標本みたいだね。 イドルですかぬ。狩猟民族 物というわけですね。 ボクは登別つて写真でみた が二十も三十もあるの? 白老のアイヌは今の所見せ ことがあるんだけれどし ムある。

どうもそう簡単に肯定され

ば避暑ですね。

内地留学ですか。いうなれ

ちやあ。でも札幌はいゝ所

ーエッ!柳の枝を用いるつて のは羨しい限りだね。 が三十万円もあるつていうでも準講座で年間の割当費 北大はまあ北海道のカナメ 考えようによつては夏の 竹がなくちや七夕のとき困 に相当するわけだからね。 は反つて風情もあるね。 ?。感じが出んナ。 るだろうねえ。 ホウ! 竹がないんですか 況である。

會

計

報

ます。

りというべきですかね。 けずりな自然の荘大さにあ

ホウ!

街の中に原始林が

するとやはり北海道のよさ

は人為的なものになく、荒

りませんね。

ら街の黒ずむのも無理はあ

尤も冬中ストーブをたくか

という所ですか。

は街の広さと樹林相にあり そうですか。北欧的な色彩

> 北大農学部昆虫学教室で勉強 私は本年七月から三ヶ月間 ...... ぬるのがあるでしようね。 地というものは何か物足り ようにやはり歴史の浅い土 そう、たしかに君の感ずる 逸見といった先生は皆北大 先生、近くは木原、田中(義) 出でしたね。 新渡戸・内村・宮部などの の力を感ずるね。 いるところ、偉大な教育者 ヤスの精神が脈々と流れて ボーイス・ビー・アンビシ

光画クラブ ニユース

出品点数も三〇点を上廻り盛 月の最終土曜日の午後行われ く相互の親睦も益々深まりつ腕前の上達も非常に目覚まし 経過した光画クラブは会員の 月例を毎月催しておりその 過した光画クラブは会員の 会員の作品が多数出品され精昨年末発足以来約一ケ年を に於ても職員の部が設けられ でおりますが、同窓諸兄にお 彩を添えた。 表的作品を掲載して行く予定 部である。(今後本紙上に代 かれても奮つて多数御投稿下 れた写真もその時の作品の一 尚会報五頁、七頁に掲載さ

幸を念じて止まない。(山口)

最後に故人の御冥福と御遺

(山口)

平石兵衛氏(蚕一二)

学内の第二回文化祭写真展一さる様期待しております。

より支えられて来たが、九月 夫人及御息女の最前の看護に が回復すると今度は膿胸を患 たが、今年二月風邪を悪化さ 十五日朝遂に永眠された。 せ、ついで胆嚢炎を併発、之 再起可能」と希望にもえてい けられ昨年頃は此の分では「 患のため休職、自宅療養を続 いそのまる臥床八ヶ月、只管 中であつたが四年前から肺疾 新潟県安塚農業高校に奉職 を会話形式で簡単にお伝え致 スのないま」に北海道の印象 をしてまいりました。スペー 梧先生の助手を勤

新潟県、

与えられた教室主任八木先生 げます。 由を顧みずこの機会を心よく に紙上をかりて厚く御礼申上 頂いた学部長伊藤先生。不自 しました。 この留学について御配慮を

(生物学教室勤務)

写真 と筆者 左上月寒牧場 右上クラーク博士像

御遺族は智恵子夫人と長男

新潟県は同県教育功労者

野及上田で長く勤務され、 続

して丸 として目村子弟の教育と文化 中学校の懇望にこたえ、教頭 奉職、最近故郷の埴科郡森村 長野蚕業試験場技師として長 頗る明朗健康だつたのでこの た。以後約十年間は教育者と に献身されており、 糸学界に多くの業績を残され 子、篠ノ井の各高女に 昨夏迄は 待をかけられた人材丈けに誠 承つているが、今後多大の期 名教頭として近く校長昇格の して、特別の待遇をされたと つたもの」ようである。 **随に捕われ、今日の結果とな** 職務上の過労の為か、遂に病 機が熟していたのであつたが 最後に自県安塚高校に転じ、 葉県等当初から教育界に入り

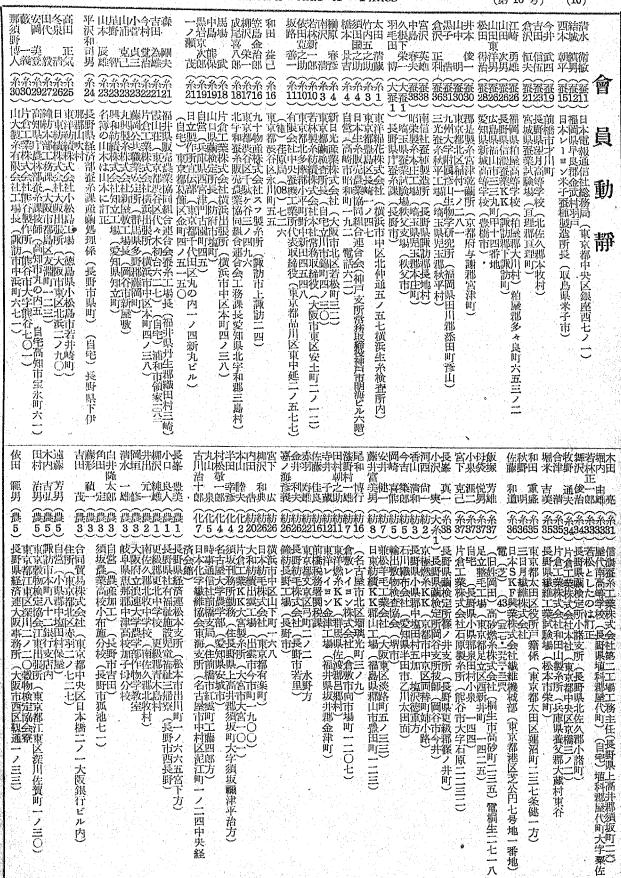
ると共に遺された方々の御多 る。終りに故人の御冥福を祈 三男は高校三年生、四男は中 次男は上田信大繊維学部四年省吾氏は医学士で現在研究中 学二年生で、何れも優秀であ うとは自他共に夢にも考えて 人、それに令息四人で、長男 残念でならなかつたと思う。 る。御遺族は老母堂と信子夫 には誠にお気の毒の極みであ 息達のことを考えると御遺族 いなかつた丈けに、御本人も ように忽焉として他界されよ それに未だ成人されない今 その御主人(同県吉川農高の に痛惜哀悼の念に堪えない。 族の御多祥を祈念してやまな 城郡明治村上増田新田。 教諭)と共に同家に同居して 隆一氏(山形大学工学部二年 おられる。自宅は新潟県中頸 )であるが、現在長女の方が

編 集 後

たい。 位の一層の御協力をお願いし あつたが、支会及び学外会員 ものにという編集部の方針で のになってしまった。会員各 かつた」め学内会報の様なも からの記事が全く寄せられな △会報をもつと親しみやすい

いた。紙上を通じて深謝の意市川氏に絶大なる御協力を戴 △本誌編集に当り信大尚学会 を表する。 編集部総務 集 部員 日中茂光 今井甲子男 田口 (石川記) 山長雄

金金和大者 (本年) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
高関関関統者 櫛片鬼上伊横四柳山矢森森 梨前古馬半林橋北西新東流玉竹 養佐久川笠石 青青和村古西西橋 木藤原田形原藤沢 茂茂沢浦浦 紫 山田瀬場田 詰岡沢津城沢井内原藤保村原井島柳田山川村 照
安青室仲原下近小西波村宮峰三中田鈴斉北鎌川小青中小久松渡山九花中桜倉木大植天横宮平中中遊藤木岡村。平藤根沢辺山本村石畑中木藤村原上沢沼里宮根村辺浦山里村井島村発松野沢坂山島島山港、大龍東湖。
中不免费的
四中中中他常角玉港高関正下篠渚佐小倉木碓市池池井若塞村宮宮原野中中中曾清小小小小金金村村島島岡盤田井沢島 村原原水藤林科內井川田內出林岡田下坂田沢村沢沢我水松塚林林井光井 華 真 和啓 英銳弘 寬光梅和 義義八敬敬和鈴敏武 潤宮 昭曼祐恒陽區益基明清 (幸男男夫武郎隆水造忠則三女大一義維夫宽実規信郎三二夫子雄雄胖子隆一治三一朔一三夫博明人 以(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(



集

干訪今 曲の号 会記は 

学生の文化原生関体としての一尚 をもちたいとしてうまれたのが、 ありまして、学生の横のつながり

扨て本会の組織と機構について少

ていますが、この六学部は地理的

六学部が融合して、大学を構成し 工学の一学部、上田に繊維学部の

に分散し文字通りタコの即大学で

に無料配布。発行して居ります。

御希望の各位には任同御贈りしま

学部及び大学本部、長町に教育、

発 行 所 上田市常入信大概内 信州大學尚學會

TEL 1216~1218 振替長野15983

購融料 1部 年 間 (**干**块) 5円 100円

毎月1.11.21の日発行

繊維學部祭終る

十月十六日から十一月三日迄

13日第三種郵便物認可)

未だ誕生して日も浅いので本紙を 井喧俊ピアノリサイタル、同二日 通じて改めて生い立ちを替きます 会名を御存じの事とは存じますが して居られまず方には、既にとの 指さま又は他府縣でも教育に関係 まに御紹介中し上げます。脈内の 高校英語并論大会、十一月一日福 信州大学尚学会」を集め合さ 学会であります、政治行動等は

ず単奏り、二十五日に実情 全国主要十大学の学生文化圏体が

に前日の各種展覧会を行つて一先 十八日は古来有名な運動会を中心 崇術展、中日貿易展、レコードコー又は多大な後**接**によるものであつ間放、映画。心の旅路』、写真展一行憲は全て信州大学的学会の主催 夜祭で春を賭け、翌十七日は学内 一時代からの名物「パッパ」の前 日から聞かれ、初日は「上田養專 真大会等の所嗣文化を行事を行い 本年度信大繊維学部祭は十月十六一東北信商校雄弁(日本語)大会と ンサート、学内英語弁論大会、楽 維化学科四位となっている。 紡織学科一位、「嬰系学科」位、 た。なお参考迄に運動会の順位を 一が後半期に行われたが、後半期の 響東北信或いは全縣にわたる催し 記すと、養在学科七一点で優勝、 第 同長野縣下高校英語弁論大会

構成し、<br />
西校生が大学進学のため 連合して「全国学生文化連合」を

ス試の学力試験。などの模様テス の"進学適性検査"或いは

【石川、福井冬縣、京都府、神田地方(山山縣を除く)四中国地方(山山縣を除く)四

奈 医女子大學 研學会

【奈良縣、三重縣母賀上野以四】(奈良市北魚屋四町奈大構内)

大阪大學 啓學会

大学

學生文化連合とは

長野市実科信人祭内に夫々設置さ 的事務所は松本分区として松本市 係員四名がおります。そして支部 大学能一の学内圏体でありまして 縣町信大文理学部内に長野分区は 務所を置き専任事務員四名と学生 会本部は繊維学部内千曲会館に事 しく申し上げますと、本会は信州 テスト・コンクール等を連合して 各圏体の所在地、【】内は担当 進学するためのアチーブメント・ ンクールを、また中学生が高校に 加盟関体は次の道りで内() 全国的に加行している。 ト即ち進適コンクールとか学力コ

東北大學 進學指導会 東京大學 北海道大學學生教育指導会 地域である。 (和幌市北大楷内) [北海道] [東北地方大縣]

庶兒島大學 研文会

**即児島、熊本、宮崎各縣]** 鹿児島市山丁町段大橋内)

九州大學 學窓会

灣区以東] 【天阪府、和歌山縣、兵庫縣東(天阪府醫中市阪大北槽内)

學生文化指導会 Ш 信州大學尚學会本部 (上田市常人信大街内)

信大尚學会長野分區 [北信扫当—教育·丁学阿学池] (長野市妻科信大寮内)

僧大尚學会松本分區 教育分校及び農学の四学部】 【中・南信和当―文理・医学・松本市縣町信大構内】

信大尙學會後半期行事表 utattuttimittimittimittimittimittimittitimitliti

10.11 第一回アチーブ・テスト (全県)

高校英弁出場申込人切

東北僧弁論大会出場申込メ切

中学生作品コンクール出品メ切

第二回県下高校英語弁論予選 東北信一上田 中南信一松本

本年最後の進適コンクール (全国) 芸大教授福井直俊先生独奏会(上田)

第一回信州の中学生作品コンクール 審查結果発表

第二回県下高校英語弁論大会(長野)

文部省進適 15

第二回アチープ・コンテスト(全県) 12. 5 本年最後の中学生実力遊成テスト

26~ ンテスト(全県)

第四回学力コンクール (全国)

尚学会新年度事業計画審議会(本部) 14

国立大学第一期入試始まる 3

15 新年度事業計画発表

国立大学第二期入試始まる 信州大学入学試験(各学部)

### 織

新学制の液につれて信州大学が誕ージュール)は別項の通りでありま 先輩の諸兄姉 る年間行事(これは後半期のスケ 安定を関してありますが、まな ルバイトを順拓して、学生々活の 変れて、学生の経済前、即ちア 中・商校生等後報の学習指導に力 行わず、地域社会の文化の向上、

と発布一割位の学生 は在学生を以って組織 れており、飯田にも印 込所があります。金質

一万部(これは豚下の中・商校生 ムズ」を負担で一回約一万部から ド一覧「僧州スチュデント・タイ す。機関紙としましてはタプロイ して居り、評議員には各学部から に高橋学長と大学部長を迎え、理 学生自治で運営されています。 選ばれた若干の学生が当つて全て 事には各学部から一名の教授を推

京都大學 親學会

[愛知、三軍、岐阜、富山] (名古屋中中区名大樽内) 原和市左京区官田京大樹内)

紙面の都合で簡略ですが、先輩の を御願い申し上げる次第です 圏々様のよろしき御指導と御支援

、歴代教

信

州

大 學 尚 學

生し、伊那

に歴史部へ

質なめ三

が関係しており、顧問

偕州大學 尚學会 型、新潟之縣]
「東東地方一都六縣、幣尚、」 (上田市学(伊塔巴)

名古屋大學學生文化研究

大尚學会飯田申込所



発 行 所 上田市常入信大桐内 信州大學尚學會

TEL (上田)1217 振替長野15983

6円 25円

学

內唯一

每週月曜日発行

れるととになっています。また昨 作年信 大尚学会に 政称して、 全国 田で初のサマースクールを開講し にアルバイトを提供することが出 生の学習指導が広まり、広く学生 た。との頃から全豚的に中、高校 那にそれぞれ分区が設備されまし 本に、また農学部学生のために伊 教育分校の三学部学生のために松 部学生のため長野に、医、文理、 学部内に移され、教育、工の両学 会に改組され、本部がとく繊維 認圏体として信州大学「学力増進 来るようになり、翌五一年には上 松本で文化連合の会議をもち、 のみならず、広く学生にアルバイ て、単に当会の事業のアルバイト また現在は学生の固定せる収入の ために家庭教師のあつ旋などもし 体であります。 しい学内呼生活動を主体とした側

て、五一年に任意圏体から学内公 まずが、此の機関に学内並に同窓 既に広く御存じの方も多いと存じ をしたことに始まり、型五〇年に ひまらや派削会」として呱々の両 の皆さまに紹介いたがけますこと ある尚学金のことにつきましては をあげ主として中学生の学習指導 界大学力増進会長野縣支部となっ 簡単に、その要旨を申しますと、 金楼(現信文型学部) と 一、沿軍=一九四九年に旧制松 いられた紙面ででざいますから、 | 三條に "この会は長野縣に於ける 一二、脚・貫一当会の会則第一輩第 なり、あくまで学生にとって相応 して、単なる学内文化圏体とは異 のアルバイト間拓が目的でありま 中、商校生に直接あるいは間接的 目的とする。とありますように、 中学校及商校生徒の学力を向上し 徒に関する調査を行い、あわせて に学内の側面援助をし、私達学生 信州大学学生の福祉原生を図るを 学生生徒の状況及び学園と学生生

る当会の厚生活動の推移を別表に 一が十分に生かざれる段階に来てお 数字で御示しいたします。 ります。御参考迄に昨年度に於け な状態でありましたが、現今では バイトを提供出来ないと云う残念 拘らず大多数の学生に充分なアル 規模の拡大強化により本会の趣旨 ては小規模な為に、その趣言にも 三、現況=創立当初に於きまし

で()内は所在地、 尚學会のつながりは次の通り 館であります。 信州大學尚學会本部 .[]内は

> 大学生版なども発行しており として、高校を版、同窓生版

ますので、先輩各位からの原

稿をお待ちしております。

個大内に於ける文化原生**風体で** | 力によって本部が同会館に移され つの 厚生 ています。そして現在に至ってい 團 体

で御説明しますと 一九四九年度

一九五〇年度 造定 11111000 1五00%

のアルバイト費総額(単位は子 行の数字は創立以来、一カ年間 一公三程 出程 売100% 

って其の数が上昇していること 円)括狐内は一カ年間のアルバ イター平均延人員で、近年にな 一利 度 用

学している学友のためにも当然の 難各位の御支援と御協力を願う次 ものと思われます。それは不況経 後はたす役割は学内に於て大なる れ、またアルバイトを学想して就 生々活も益々窮迫のことが予想さ 済の中にあつて今年のように、学 五、今後一とのような当会が会 ととく思います。学内並に同窓先 中学生版に主力をそろいで発 当会ではたざいま週刊四頁の

いるか、と云うととについて数字 四、アルバイト活動―当会が ているものと思われます。 一体との位学生のために役立つて

7000A

教育分校及び農学の四学部

11.0H00% 三八人 合 計 58,000 183,000

上田分区 長野分区 松本分区 40,500 36,500 当 48,000 委 数 6名×12  $5 \times 12$  $5 \times 12$  $7\times12$  $23 \times 12$ 104,470 101,324 61,200 142,848 アルバイト費 409,242 延401名 延620名 アルバイター数 延414名 延895名 延2330名 1.アルバイト費として学生 2330名に還元された額は総 44,348円のうち592,242円で約25%が支出されている。

れて益々、経済情勢の窮迫をつけ 生々活が社会不況経済の波におさ 来られていることは、現今の学 僧大尚學会長野分區 【金縣統括—繊維学部】 接野市戰利何大發內

信大尚學会松本分區 北信担当—教育·丁季而学部 中・南信担当一文理・医学 《松本市縣町僧大樓内》

上田 (郷土) の香……

TEA ROOM

行しておりますが、臨唐増刊

お知らせ

1780

堂 食

W

**ざう** TEL 2 9 8

みなさせの 食卓におくる! 味で評判の…

#### 州

直亮所 上田市松尾町·TEL 販売元 上田市 祝町、TEL 上田市祝町·TEL316·1423